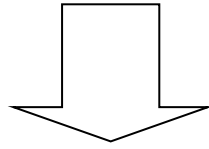


| | 育てたい力 | 具体的な授業改善策 |
|------|--|---|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に物語文や説明文を読むこと。 ・話を集中して聞き、内容を把握すること。 ・自分の考えや経験したことを、作文や新聞で相手に伝えること。 | <ul style="list-style-type: none"> ・読むことの学習では、教科書の文を拡大したり、分かち書きの文を使用したりすることで意欲的に文章を読むことができるようにする。また、家庭学習等で音読に取り組む。昔話や早口言葉、遊び歌を音読の題材とし、楽しんで読めるようにする。 ・聞くことについては、インタビューしたことを新聞やプレゼンテーションソフトにまとめる活動を通じ、聞くことに必要感をもたせ、集中して聞けるようにする。 ・書くことについては、5W1Hメモを活用して、作文にまとめていく。タブレットを活用し、書きの困難さを軽減する。 |
| 生活単元 | <ul style="list-style-type: none"> ・理科的学習には、実験や体験型学習を行い、日常生活に活かすこと。 ・社会的学習には、体験学習を通じ、国土の気候や産業等に親しみをもつこと。 | <ul style="list-style-type: none"> ・理科的学習では、内容を焦点化するとともに、実験や体験型学習を取り入れることで、日常生活と照らし合わせながら学習に取り組めるようにする。 ・社会的学習では、自分で資料を用いて調べたり、物づくりを体験したりすることで、基本的な知識や日本人の暮らしについて親しみをもつ。 |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな四角形や三角形の面積を求めること。 ・2つの数量関係を比べ、割合で表すこと。 | <ul style="list-style-type: none"> ・内容を焦点化するとともに、実態に合わせたワークシートを活用することで、いろいろな四角形や三角形の面積の求め方を知り、求めることができるようにする。 ・電子黒板を用いて視覚的に2つの量を比べる活動を通して、割合で表す方法をすることができるようになる。 |
| 図工 | <ul style="list-style-type: none"> ・見通しを立てイメージをもてるようにすること。 ・安全に気を付けて作業すること。 | <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの使用や教員の手本等でイメージをもたせ見通しを立てて活動を行う。けがをしないよう活動前には道具の使い方を確認し、安全に活動できるようにする。 |
| 音楽 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動を楽しむこと。 ・演奏や歌唱の技能を身に付けること。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教員と一緒に歌い、曲の良さや楽しさに気付かせる。 ・楽譜と楽器に貼る運指のための色シールを対応させ、視覚的な支援をする。 |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> ・ルールを理解して運動を楽しむこと。 ・基礎体力を養うこと。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童の能力に合わせて役割を決めたり、ルールを単純化したりすることで、見通しをもって活動に参加し、達成感をもたせる。 |
| 道徳 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分や相手の気持ちや考え合うこと。 | <ul style="list-style-type: none"> ・映像教材を用いることで場面や状況の理解を促す。 ・役割演技を行い、登場人物の気持ちを想像し、自分の状況に置き換えて考えられるようにする。 |
| 家庭 | <ul style="list-style-type: none"> ・安全に気を付けながら調理実習や被服実習を行うこと。 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動前に注意事項を伝え、けがのないように活動させる。 ・学習内容を家庭に伝え、日常生活に活かせるようにする。 |
| 外国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく外国語に親しみ、単語やフレーズを発音すること。 | <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し英語の歌を歌うことで、自然と英単語が発音できるようにする。 |
| 総合 | <ul style="list-style-type: none"> ・資料を活用して調べ、発表すること。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教員と話し合ったり、選択肢の中から選んだりし、調べたいものを決める。 ・タブレットや本を活用し、視覚的支援を行う。 |
| 学級経営 | <ul style="list-style-type: none"> ・交流学級において多様な人と関わること。 ・自分を知り、自己肯定感を高めること。 | <ul style="list-style-type: none"> ・友達とたくさんの関わりがもてるよう、教員が距離感で見守っていく。良い行いを積極的に褒め、自信をもって学校生活を過ごせるようにする。 |



| | 成果○ と 課題▼ |
|------|---|
| 国語 | ○5W1Hを視覚的に示し、日記を書く活動を繰り返し取り組むことで、意欲的に日記を書く姿が増えた。 ▼自分の気持ちや考えを、言葉で表現することが難しいため、読み聞かせをしたり、ICTを活用したりしてたくさんの言葉にふれる機会を増やしていく。 |
| 生活単元 | ○理科的学習では、内容を焦点化することで意欲的に学習に取り組むことができた。交流の学習では流れや約束を視覚的に示すことで、落ち着いて参加することができた。 ○社会的学習では、ICTを活用し、都道府県の歌に親しみ、各地の特産物について意欲的に調べることができた。 ▼児童の興味に偏りが見られることがあったため、児童の実態に応じて学習内容を考える必要がある。 |
| 算数 | ○検定教科書の内容を焦点化し、考え方や公式を提示して計算に取り組むことで計算の仕方を確認しながら取り組む姿が見られた。 ▼計算の仕方を忘れてしまうなど、定着が不十分な姿が見られたため、長期的に繰り返し練習問題に取り組ませていく。 |
| 図工 | ○教員との対話を通じ、自分が作りたいものを自由に表現する姿が見られた。 ▼抽象的なイメージをもつことが難しい様子が見られたので、イメージを膨らませながら学習に取り組むようにしていく |
| 音楽 | ○教員と一緒に歌うことで、声の大きさや音程に意識しながら歌う様子が見られた。 ○楽器を演奏している様子を撮影することで、上達したいという意欲が高まった。 ▼リコーダーを吹くときの息の量や指使いに苦手意識をもつ児童がいた。視覚的教材を用いながら練習できるようにしていく。 |
| 体育 | ○児童の能力に合わせて、練習の場を設定したことで、児童が見通しをもって伸び伸びと練習する様子が見られた。 ▼ゲームのルール理解が難しく、困り感を示すことがあった。支援教室で予めルール説明したり、見本を示したりすることで、ルールの理解ができるように支援する。 |
| 道徳 | ○学校生活で起こりうる場面絵を提示することで、善悪の判断ができ、登場人物の気持ちを考えることができるようになった。 ▼相手の気持ちを深く考えることが難しい場合があった。役割演技を行ったり、日々の生活と結び付けたりしながら自分の状況に置き換えて考えられるようにしたい。 |
| 家庭 | ○活動前に注意事項を伝えることで、けがなく安全に活動することができた。 ○教員が適度な距離感で支援することで、友達と協力しながら取り組む様子が見られた。 ▼授業で習ったことを日常生活に生かそうとする姿がほとんど見られなかったため、家庭と連携しながら児童が必要感をもてるようにする。 |
| 外国語 | ○英語の歌を繰り返し聴くことで、すすんで英単語を覚えようとしていた。 ○ゲームを簡略化することで、英語を楽しむ姿が見られた。 ▼発表やコミュニケーションを恥ずかしがってしまう児童が見られた。スモールステップで自信をもたせていく。 |
| 総合 | ○繰り返し発表練習を行うことで、友達と協力して米作りについて発表することができた。 ○手本を提示することで、活動内容を知り、落ち着いてプレゼン作りに取り組むことができた。 ▼児童主体で展開される活動では、見通しがもちづらく不安定になることが多くあった。周囲の児童にも働きかけたり、予め何をするか把握した上で参加したりするなどの支援が必要である。 |
| 学級経営 | ○児童が自分のやりたいことや挑戦してみたいことに積極的に取り組む姿が見られた。 ○自分で選択したり判断したりする姿が見られた。 ▼できるようになったことの定着を図り、さらに習慣化できるよう、今後も支援していく。 |